

漢字音讀名人

《 6 年 》

國語	算數	理科	社會
圖工	算音	體育	給食

2 学期

名前	
----	--

東書配列

「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使います。裏のページは、友達との聞き合いに使います。
一漢字ずつ、読めるようにしていきます。

①まず、表のページで読む練習をします。

・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。
線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。

★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏のページでチャレンジします。

・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。

・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。

・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

俳

俳句とは

五七五の短い詩



俳句には季語を必ず入れる。

ふるいけや
かわずとびこむ みずのおと
「季語」かわず(カエル)「春」

有名な俳人の松尾芭蕉。



私の大好きな映画俳優。



探

名探偵

手がかり探って事件を解決



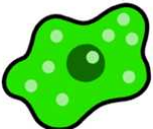
宝物を探し求める。



ヒマラヤの奥地を探検する。



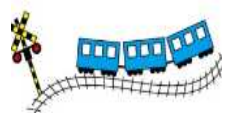
生命の起源を探究する。



浴

浴道・沿岸

「浴」は流れに浴うこと



目的や話題に浴って話し合う。



鉄道沿線の美しい景色。



浴場で旗を振る応援の人々。



俳

俳句とは

五七五の短い詩



□俳句には季語を必ず入れる。

ふるいけや
かわずとびこむ みずのおと
「季語」かわず(カエル)「春」

□有名な俳人の松尾芭蕉。



□私の大好きな映画俳優。



探

名探偵

手がかり探って事件を解決



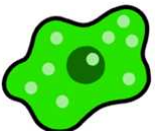
□宝物を探し求める。



□ヒマラヤの奥地を探検する。



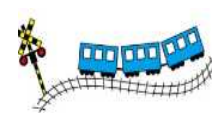
□生命の起源を探究する。



沿

沿道・沿岸

「沿」は流れに沿うこと



□目的や話題に沿って話し合う。



□鉄道沿線の美しい景色。



□沿道で旗を振る応援の人々。



届

落とし物を
交番に届ける



注文品を配達先に届ける。



痒い所に手が届く。



学校に欠席届を提出する。

欠席届 FAX 送信票

受信者：〇〇小学校 TEL XXXXXXX FAX XXXXXX

XX年XX月XX日

●年●組 児童氏名 ●●●●

保護者氏名 ●●××



株

木の切り株に
小鳥が止まる



花の苗を二株もらった。



会社が株券を発行する。



父は株式会社勤めている。



看

病人の手当てや
世話をする看護師



祖母の最期を看取る。



熱を出した子を看病する母。



いろんな看板が並ぶ商店街。



104

届

落とし物を

交番に届ける



□注文品を配達先に届ける。



□痒い所に手が届く。



□学校に欠席届を提出する。

欠席届 FAX 送信票

受信者：〇〇小学校 TEL XXXXXX FAX XXXXXX

XX年XX月XX日

●年●組 児童氏名 ●●●●

保護者氏名 ●●××



105

株

木の切り株に

小鳥が止まる



□花の苗を二株もらった。



□会社が株券を発行する。



□父は株式会社に勤めている。



106

看

病人の手当てや

世話をする看護師



□祖母の最期を看取る。



□熱を出した子を看病する母。



□いろんな看板が並ぶ商店街。



座

座布団に

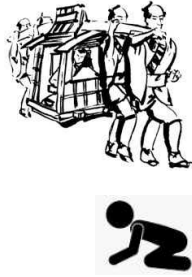
正座で座って足がしびれた



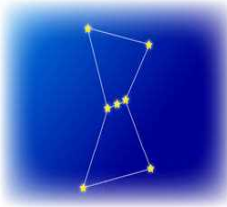
□ バスの座席に座る。



□ 殿様の行列に土下座する。



□ 冬の夜空に輝く星座オリオン。



盛

盛大に

パーティー開かれ盛り上がる



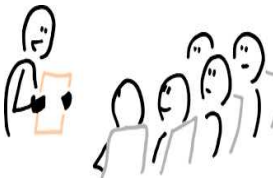
□ 筋肉が盛り上がった体操選手。



□ 桜は今は盛りです。



□ 今日の発表会は盛会だった。



券

駅の券売機で

乗車券を買った



□ 映画館の入場券を買う。



□ バスの回数券を買う。



□ 電車の定期券を改札口で出す。



座

座布団に

正座で座って足がしびれた



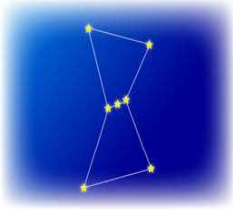
□ バスの座席に座る。



□ 殿様の行列に土下座する。



□ 冬の夜空に輝く星座オリオン。



盛

盛大に

パーティー開かれ盛り上がる



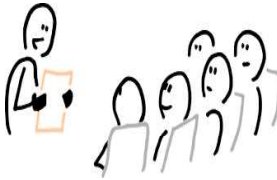
□ 筋肉が盛り上がった体操選手。



□ 桜は今が盛りです。



□ 今日の発表会は盛会だった。



券

駅の券売機で

乗車券を買った



□ 映画館の入場券を買う。



□ バスの回数券を買う。



□ 電車の定期券を改札口で出す。



専

専ら女性だけが乗る
女性専用の車両



受験勉強に専念する。



専門家の意見を聞く。



社長専属の運転手を務める。



模

平城京の
復元模型

大規模な



模造紙でポスターを作る。



水玉模様のワンピースを着る。



これは本物でなく模造品だ。



純

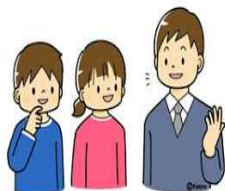
純金・純白「純」は
「混じり気が無い」という意味



幼児は純真な心の持ち主だ。



単純明快な説明でよく分かる。



純白のドレスを着た花嫁。



110

専

専ら女性だけが乗る

女性専用の車両



□受験勉強に専念する。



□専門家の意見を聞く。



□社長専属の運転手を務める。



111

模

大規模な

平城京の

復元模型



□模造紙でポスターを作る。



□水玉模様のワンピースを着る。



□これは本物でなく模造品だ。



112

純

純金・純白「純」は

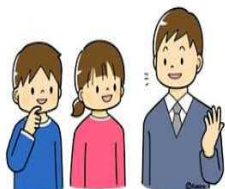
「混じり気が無い」という意味



□幼児は純真な心の持ち主だ。



□単純明快な説明でよく分かる。

□純白のドレスを着た花嫁^{よめ}。

勤

会社に勤めるお父さん
毎日電車で通勤する



兄は建設会社に勤務している。



労働に感謝する勤労感謝の日。



勤務時間が短いパート労働者。



潮

干潮だ
潮干狩りに行く



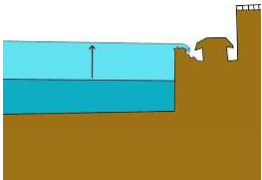
クジラが潮を吹く。



伝統を軽視する最近の風潮。



海は満潮と干潮を繰り返す。



骨

骨組みを
骨格という



体を支える

骨折り損のくたびれもうけ。



交通事故で足を骨折した。



鉄骨でできているガレージ。



勤

会社に勤めるお父さん
毎日電車で通勤する



兄は建設会社に勤務している。



労働に感謝する勤労感謝の日。



勤務時間が短いパート労働者。



潮

干潮だ
潮干狩りに行こう



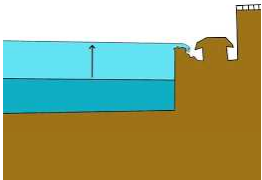
クジラが潮を吹く。



伝統を軽視する最近の風潮。



海は満潮と干潮を繰り返す。



骨

骨組みを
骨格という



骨折り損のくたびれもうけ。



交通事故で足を骨折した。



鉄骨でできているガレージ。



木 杵 桡 楔 槌 棒

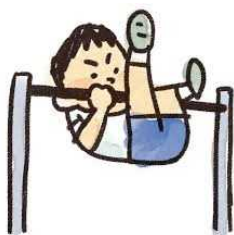
棒

棒ぼう
使つか
い

バーを跳び越す棒高跳び



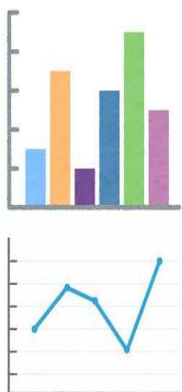
□鉄棒てつぼうの逆上さかあがりができた。



□ 彼が一緒なら鬼に金棒だ。



□ 棒グラフと折れ線グラフ。



穴

石器時代の人間は

ほらあな
洞穴で穴居生活をしていた



□靴くつした下したにぽっかり空あいた穴あな。



□ 厚^{あつ}い板^{いた}にドリルで穴^{あな}を開^あける。



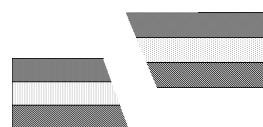
□ 虎こ穴けつに入いららずんば虎こ子じを得えず。



層

地層が地震で崩れ

断層になる



□このチームは選手せんしゅの層そうが厚いあつ。



□ 高層ビルが建ち並ぶ大都会。



□油断せず一層努力します。



116

棒

棒使い

バーを跳び越す棒高跳び



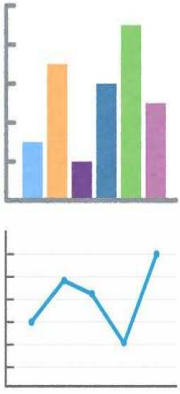
□鉄棒の逆上がりができた。



□彼が一緒に鬼に金棒だ。



□棒グラフと折れ線グラフ。



117

穴

石器時代の人間は

洞穴で穴居生活をしていた



□靴下にぽっかり空いた穴。



□厚い板にドリルで穴を開ける。



□虎穴に入らずんば虎子を得ず。

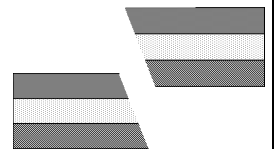


118

層

地層が地震で崩れ

断層になる



□このチームは選手の層が厚い。



□高層ビルが建ち並ぶ大都会。



□油断せず一層努力します。



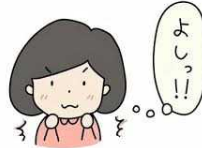
奮

「奮起」とは心を

奮い立たせて元気を出すこと



□ 勇気を奮って発言した。



□ 興奮しながら冷静だった。



□ 強い敵を相手に奮戦する。

**延**

決めてあった日を

先に延ばすことが「延期」



□ 雨で運動会が一日延びた。



□ 試合が延長戦に入った。

□ 延々と続く長蛇の列。

**銭**

銭湯は

銭を払って入る風呂



□ 小銭を出して運賃を払う。



□ 買い物をして釣り銭をもらう。

□ 昔使われていた古銭を集める。



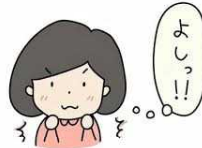
奮

「奮起」とは心を

奮い立たせて元氣を出すこと



□ 勇氣を奮って発言した。



□ 興奮していながら冷静だった。



□ 強い敵を相手に奮戦する。



延

決めてあった日を

先に延ばすことが「延期」



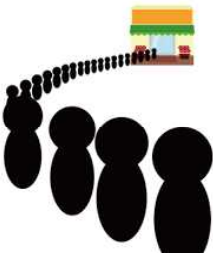
□ 雨で運動会が一日延びた。



□ 試合が延長戦に入った。



□ 延々と続く長蛇の列だ。



銭

銭湯は

銭を払って入る風呂



□ 小銭を出して運賃を払う。



□ 買い物をして釣り銭をもらう。

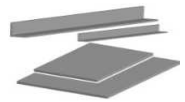


□ 昔使われていた古銭を集める。



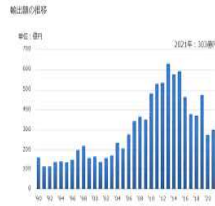
鋼

炭素を混ぜて作った
鋼の板が「鋼板」



□ 日本刀は鋼で作られている。

□ 日本の鉄鋼の輸出量の変化。



□ 鋼鉄で作られた電車の線路。



批

作品のできばえを
批評する審査員



□ 批判するより助言しよう。

□ 温かい批評の言葉をもらった。

□ 平和条約を批准する。



操

コントローラー
巧みに操りドローンを操縦



□ 人形を上手に操る。

□ 夏休みにラジオ体操をする。

□ ハンドルを操作して車を運転。

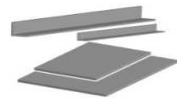


122

鋼

炭素を混ぜて作った

鋼の板が「鋼板」

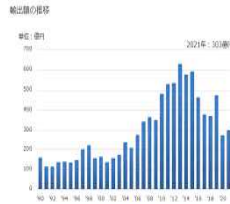


サイン

□日本刀は鋼で作られている。



□日本の鉄鋼の輸出量の変化。



□鋼鉄で作られた電車の線路。



123

批

作品のできばえを

批評する審査員



サイン

□批判するより助言しよう。



□温かい批評の言葉をもらった。



□平和条約を批准する。



124

操

コントローラー

巧みに操りドローンを操縦



サイン

□人形を上手に操る。



□夏休みにラジオ体操をする。



□ハンドルを操作して車を運転。



困

貧困で困っている
人々を助けたマザーテレサ



□ 答えが分からず困った。



□ 困難に負けず努力する。



□ 困り事があれば相談してね。

**収**

二桁勝利を収めて
収入が倍増した選手



□ 劇の公演で成功を収める。



□ 古新聞を資源回収に出す。



□ 切手を収集するのが趣味です。

**捨**

四以下は捨て 五以上は
切り上げるから四捨五入

32,718 人
↓ 四捨五入
30,000 人

□ 捨てられたゴミを拾う。



□ 使い捨てのマスクを使用。



□ 必要な物を取捨選択する。



125

サイン

困

貧困で困っている

人々を助けたマザーテレサ



□ 答えが分からず困った。



□ 困難に負けず努力する。



□ 困り事があれば相談してね。



126

サイン

収

二桁^{けた}勝利を収めて

収入が倍増した選手



□ 劇の公演で成功を収める。



□ 古新聞を資源回収に出す。



□ 切手を収集するのが趣味です。



127

サイン

捨

四以下は捨て 五以上は

切り上げるから四捨五入

32,718 人
↓ 四捨五入
30,000 人

□ 捨てられたゴミを拾う。



□ 使い捨てのマスクを使用。

□ 必要な物を取捨選択^{たく}する。

装

服装を

夏の装いにする

「衣替え」



装いも新たに新装開店。



装備を調べて冬山に登る。



風力発電の装置を作る。



源

水の流れ出る

源を源流という



人類の起源はアフリカにある。



電源を入れて機械を動かす。



資源に乏しい日本。



律

法律は

国の決まりです



規律を守って楽しい学校生活。



廊下は走らない

どの商品も一律百円です。



律令制度が確立した奈良時代。



128

装

服装を

夏の装いにする

「衣替え」
が



サイン

□装いも新たに新装開店。



□装備を調べて冬山に登る。



□風力発電の装置を作る。



129

源

水の流れ出る

源を源流という



サイン

□人類の起源はアフリカにある。



□電源を入れて機械を動かす。



□資源に乏しい日本。
とほ



130

律

法律は

国の決まりです



サイン

□規律を守って楽しい学校生活。



廊下は走らない

□どの商品も一律百円です。



□律令制度が確立した奈良時代。



131

系 紵 紵 紵 紵 紵

縦

縦と横

縦横に走る都会の道路



□ 国語は基本的に縦書き。



□ 台風が日本列島を縦断する。



□ 飛行機の操縦をする。



132

シ シ シ 済 済 済

済

借金の返済が

全部済んだ

完済だ



□ 宿題を済ませて遊びに行く。



□ 難民を救済する。



□ 輸出で国の経済が発展する。



133

一 々 著 著 著

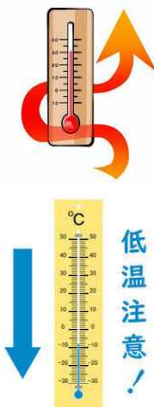
著

著しい本の売れ行き

著者の人気も高まる



□ 気温の変化が著しい。



□ 児童文学で著名な新美南吉。



□ 書物の無断引用は著作権違反。



131

縦

縦と横

縦横に走る都会の道路

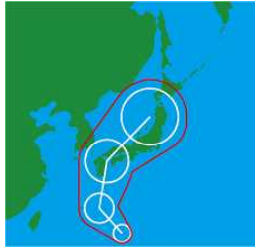


サイン

□国語は基本的に縦書き。



□台風が日本列島を縦断する。



□飛行機の操縦をする。



132

済

借金の返済が

全部済んだ

完済だ



サイン

□宿題を済ませて遊びに行く。



□難民を救済する。



□輸出で国の経済が発展する。



133

著

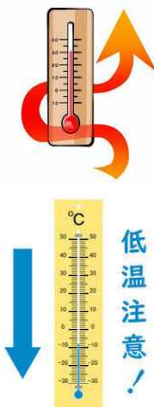
著しい本の売れ行き

著者の人気も高まる



サイン

□気温の変化が著しい。

□児童文学で著名な新美南吉きち

□書物の無断引用は著作権違反。



134

権 権 権 権 権 権 権 権 権 権

権

「人権」は

人が人らしく生きる権利



□ 大きな権力を手にした藤原氏。



藤原道長

□ 貴族は平安時代の特権階級。



□ 議長の権限で発言を許可する。



135

冊 冊 冊 冊 冊 冊 冊 冊 冊 冊

冊

一冊・二冊

「冊」は「書物・本」のこと



□ 月に平均五冊の本を読む。



□ 別冊の付録が面白い。



□ 作文を集めて冊子にする。



136

腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹 腹

腹

あいたたた

腹が痛いな 腹痛だ



□ 腹が減っては戦はできぬ。



□ 腹八分目に医者いらず。



□ 空腹なので何か食べたい。



134

権

「人権」は

人が人らしく生きる権利



サイン

□大きな権力を手にした藤原氏。



藤原道長

□貴族は平安時代の特権階級。



□議長の権限で発言を許可する。



135

冊

一冊・二冊

「冊」は「書物・本」のこと



サイン

□月に平均五冊の本を読む。



□別冊の付録が面白い。



□作文を集めて冊子にする。



136

腹

あいたたた

腹が痛いな 腹痛だ



サイン

□腹が減っては戦はできぬ。

ハナガへつては
戦はできぬ

□腹八分目に医者いらず。



□空腹なので何か食べたい。



縦

縦と横

縦横に走る都会の道路



□国語は基本的に縦書き。



□台風が日本列島を縦断する。



□ 飛行機の操縦をする。



納

税金を納めることが「納税」

品物を納めることが「納品」



□ 冬服を収納ケースに収める。



□相手の話を聞いて納得する。



☐ 出納帳を付けてお金の管理。



秘

秘ひそかに伝つたえられた

神秘の伝説



□ 強い決意を胸に秘め留学する。



□この料理の味付けは店の秘伝。



□アマゾンの秘境ひきょうを探検たんけんする。



137

縦

縦と横

縦横に走る都会の道路

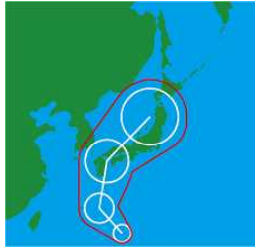


サイン

□国語は基本的に縦書き。



□台風が日本列島を縦断する。



□飛行機の操縦をする。



138

納

税金を納めることが「納税」

品物を納めることが「納品」



サイン

□冬服を収納ケースに収める。



□相手の話を聞いて納得する。



□出納帳を付けてお金の管理。



139

秘

秘かに伝えられた

神秘の伝説



サイン

□強い決意を胸に秘め留学する。



□この料理の味付けは店の秘伝。



□アマゾンの秘境を探検する。



密

ひそかに話す

ふたりだけの秘密



みつりんおうじやよばれるとら

密林の王者と呼ばれる虎。



せいみつきかいあんぜんゆうそう

精密機械を安全に輸送する。



からだこころみつせつかんけい

体と心は密接に関係している。



派

おもてせんけうらせんけ

表千家や裏千家
茶道にいろんな流派あり



きしやがいこくはけん

記者を外国に派遣する。



はでふくそうとかいわかもの

派手な服装をする都会の若者。



そんけいりっぱひと

尊敬できる立派な人。



泉

みずわていずみ

水の湧き出るところが泉
その水が熱いと温泉



いずみすいしやこや

泉のほとりにある水車小屋。



しよもつちしきげんせん

書物は知識の源泉だ。



おんせんはいきゆうよう

温泉に入って休養する。



140

密

秘かに話す

二人だけの秘密



サイン

□ 密林の王者と呼ばれる虎^{とら}。



□ 精密機械を安全に輸送する。



□ 体と心は密接に関係している。



141

派

表千家や裏千家

茶道にいろんな流派あり



サイン

□ 記者を外国に派遣^{けん}する。



□ 派手な服装をする都会の若者。



□ 尊敬できる立派な人。



142

泉

水の湧^わき出るところが泉

その水が熱いと温泉



サイン

□ 泉のほとりにある水車小屋。



□ 書物は知識の源泉だ。



□ 温泉に入って休養する。



訪

だいとうりょう
大統領が訪日し
げんばくしりようかん
原爆資料館を訪れた



はる
春の訪れを告げる鶯。
うぐいす



てんこう
転校した友の家を訪ねてみた。
いえ
たず



かていほうもん
家庭訪問で担任の先生が来る。
たんにな
せんせい

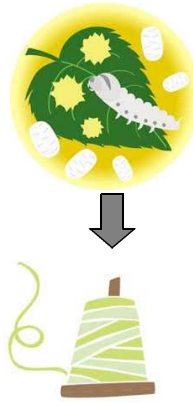


絹

きぬいと
絹糸のような筋雲
すじぐも
「絹雲」です
けんうん



かいこ
蚕のまゆから取った絹糸。
きぬいと



はくぶつかん
博物館で絹の歴史を学ぶ。
きぬ
れきし
まな



きぬおりもの
絹織物のことをシルクという。



除

じよせつ
除雪・除草
じよそう
「除」は取り除くという意味だ
のぞ
いみ



ふたり
二人を除き誰も知らない秘密。
のぞ
だれ
し
ひみつ



たいりよう
大量の土砂を除去する。
どしゃ
じよきよ



ふりようひん
不良品を除外する。
じよがい



143

訪

大統領が訪日し

原爆資料館を訪れた



□春の訪れを告げる鶯。
うぐいす



□転校した友の家を訪ねてみた。



□家庭訪問で担任の先生が来る。



144

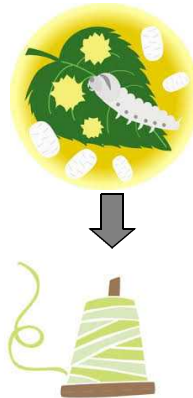
絹

絹系のような筋雲

「絹雲」です



□蚕のまゆから取った絹糸。



□博物館で絹の歴史を学ぶ。



□絹織物のことをシルクという。



145

除

除雪・除草

「除」は取り除くという意味だ



□二人を除き誰も知らない秘密。
だれ



□大量の土砂を除去する。



□不良品を除外する。



146

、ハナハ宅

宅

住宅・宅地・宅配便



「宅」は「住まい」という意味だ

□ 帰宅した時、宅配便が届いた。



□ 自宅に友達を招いてお誕生会。



□ 新興住宅が建ち並ぶ町。



147

一サササ菜蒸蒸

蒸

もち米を

蒸気で蒸してお餅つき



□ 水が蒸発して気体になった。



□ 混じり気の無い水が蒸留水。



□ 蒸気機関車に乗りたい。



148

一丁耳取取聖

聖

オリンピックの

聖火リレー



□ 神社の境内は神聖な場所だ。



□ キリストの教えを書いた聖書。



□ 聖母マリアの像がある教会。



146

宅

住宅・宅地・宅配便

「宅」は「住まい」という意味だ



サイン

□ 帰宅した時、宅配便が届いた。



□ 自宅に友達を招いてお誕生会。



□ 新興住宅が建ち並ぶ町。



147

蒸

もち米を

蒸気で蒸してお餅つき



サイン

□ 水が蒸発して気体になった。



□ 混じり気の無い水が蒸留水。



□ 蒸気機関車に乗りたい。



148

聖

オリンピックの

聖火リレー



サイン

□ 神社の境内は神聖な場所だ。



□ キリストの教えを書いた聖書。



□ 聖母マリアの像がある教会。



針

針のよう

葉が細長い木は針葉樹



針に糸を通して布を縫う。



時計の長針、短針、秒針。



今後の方針を決めて取り組む。



宝

金銀の財宝満載

宝船



学級で宝探しゲームをした。



青い宝石のような目をした魚。



多くの国宝がある法隆寺。



灰

石灰石

灰色をした石ですよ



灰色の雲が空を覆う。



紙が燃えたと灰になる。



火山の噴火で火山灰が降る。



149

針

針のように

葉が細長い木は針葉樹



□ 針に糸を通して布を縫う。



□ 時計の長針、短針、秒針。



□ 今後の方針を決めて取り組む。



150

宝

金銀の財宝満載

宝船



□ 学級で宝探しゲームをした。



□ 青い宝石のような目をした魚。



□ 多くの国宝がある法隆寺。



151

灰

石灰石

灰色をした石ですよ



□ 灰色の雲が空を覆う。



□ 紙が燃えたと灰になる。



□ 火山の噴火で火山灰が降る。



優

優やさしくて

技能ぎのうも優すぐれた優秀ゆうしゅうな人ひと



厳きびしさの中に優やさしさがある父ちち。



電でん車の優先ゆうせん座席ざせきに座すわる老人ろうじん。



悲願ひがんの初優勝はつゆうしょうを達たっ成せい。



乱

乱雑らんざつな使い方つかをして

部屋へやが乱みだれる



台風たいふうで列車れっしやのダイヤが乱みだれた。



乱暴らんぼうな言葉ことばは使つかわれない。



火事かじで辺りあたは大混乱だいこんらんになる。



染

「染色せんしよく」とは

布ぬのや糸いとを染そめること



夕焼ゆうやけで西にしの空そらが赤あかく染そまる。



昔むかしは染料せんりように野草やそうを使つかっていた。



排気はいきガスで大気たいきが汚染おせんされる。



152

優

優しくて

技能も優れた優秀な人



サイン

☐ 厳しさの中に優しさがある父。

☐ 電車の優先座席に座る老人。

☐ 悲願の初優勝を達成。


153

乱

乱雑な使い方をして

部屋が乱れる



サイン

☐ 台風で列車のダイヤが乱れた。

☐ 乱暴な言葉は使わない。

☐ 火事で辺りは大混乱になる。


154

染

「染色」とは

布や糸を染めること



サイン

☐ 夕焼けで西の空が赤く染まる。

☐ 昔は染料に野草を使っていた。

☐ 排気ガスで大気が汚染される。


155

マエ予予予預預

預

銀行に

お金を預けることを

「預金」という



□ お客様の荷物を預かる。



□ 荷物を預けて外出する。



□ 通帳の預金残高が残り少ない。



156

ヨ月良退退

退

天皇の位を

退くことが「退位」



□ 相手の要求を退ける。



□ 卒業生が退場する。



□ 祖母の病状は一進一退だ。



157

一十寸

寸

一寸は約三センチ

寸は「ほんの少しの」

という意味もある



□ 寸法を測ったら同じ長さだった。



□ 地震で道路が寸断された。



□ ゴール寸前で転び、二位になる。



155

サイン

預

銀行に

お金を預けることを

「預金」という



□ お客様の荷物を預かる。



□ 荷物を預けて外出する。



□ 通帳の預金残高が残り少ない。



156

サイン

退

天皇の位を

退くことが「退位」



□ 相手の要求を退ける。



□ 卒業生が退場する。



□ 祖母の病状は一進一退だ。



157

サイン

寸

一寸は約三センチ

寸は「ほんの少しの」

という意味もある



□ 寸法を測ったら同じ長さだった。



□ 地震で道路が寸断された。



□ ゴール寸前で転び、二位になる。



158

射

射程距離に

入った獲物を矢で射る

□矢_や的_{てき}を射_やる。

□インフルエンザの予防注射。

□直射日光が反射してまぶしい。

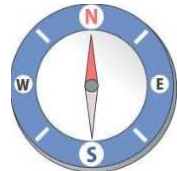


159

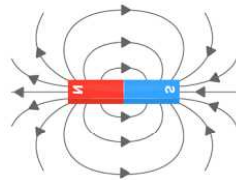
磁

南北を示す磁石の針

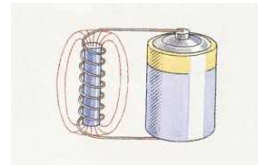
方位磁針



□磁力の強い磁石の磁場。



□電磁石を作って実験する。



□真っ白な陶磁器の皿。



160

皇

天皇が

住んでおられる皇居



□天智天皇が都を置いた大津京。



□国を支配する皇帝がいた中国。



□南極に生息する皇帝ペンギン。



161

サイン

后

天皇のお后様が

皇后陛下



□「后」は天皇の正妻を意味する。



□現天皇の生母が「皇太后」。



□王様とお后様。



162

サイン

陛

皇太子に

位を譲られた天皇陛下



□陛は「宮殿の階段」という意味。



□戦争の終結を告げた天皇陛下。



□陛下が被災地を訪問された。



163

サイン

党

政権を担当する政党が

与党



□国会にはいろんな党派がある。



□平家の残党が隠れ住んだ村。



□悪党どもを懲らしめる。



閣

内閣の各大臣を
「閣僚」という



□内閣総理大臣に任命される。



□信長は神社仏閣も攻撃した。



□京都にある金閣寺と銀閣寺。



庁

県庁・警視庁
「庁」は「役所」という意味だ



□滋賀県の県庁は天津市にある。



□気象庁の天気予報を聞く。



□市役所の庁舎が改築された。



裁

訴えや争いを
裁くことが「裁判」



□服を仕立てるために布を裁つ。



□洋裁教室で服の作り方を習う。



□ケンカの仲裁をする。



164

閣

内閣の各大臣を

「閣僚^{りょう}」という

□内閣総理大臣に任命される。

□信長は神社仏閣も攻撃^{こうげき}した。

□京都にある金閣寺と銀閣寺。



165

庁

県庁・警視庁

「庁」は「役所」という意味だ

□滋賀県の県庁は^つ大津市にある。

滋賀県

□気象庁の天気予報を聞く。



□市役所の庁舎が改築された。



166

裁

訴^{うった}えや争いを

裁くことが「裁判」

□服を仕立てるために布を裁^きつ。

□洋裁教室で服の作り方を習う。

□ケンカの仲裁^{ちんさい}をする。

憲

「日本国憲法」の
制定された日が憲法記念日



□ 憲法に書かれた不戦の誓い。

□ 児童憲章にある児童の権利。



□ 日本は立憲政治の国だ。



己

「克己」とは
己(自分)に打ち克つこと



□ お互いに自己紹介する。

□ それは自己満足に過ぎない。



□ 利己的な人が多くなった。



翌

「翌」は「次の」という意味だ



□ 運動会の翌日は体が重い。

□ 夜更かしすると翌朝がづらい。



□ 僕が生まれた翌年妹が誕生。



憲

「日本国憲法」の

制定された日が憲法記念日



□ 憲法に書かれた不戦の誓い。
ちか



□ 児童憲章にある児童の権利。



□ 日本は立憲政治の国だ。



己

「克己」とは

己(自分)に打ち克つこと
か



□ お互いに自己紹介する。
たが しようかい



□ それは自己満足に過ぎない。



□ 利己的な人が多くなった。



翌

翌日・翌週

「翌」は「次の」という意味だ



□ 運動会の翌日は体が重い。



□ 夜更かしすると翌朝がつらい。



□ 僕が生まれた翌年妹が誕生。
ぼく



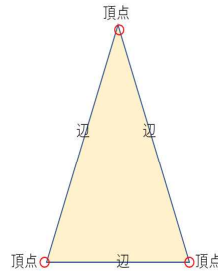
頂

山^{やま}の頂^{いただき}を

「山頂^{さんちよう}」という



□ 三角^{さんかくけい}形の頂^{ちようてん}点^{てん}と辺^{へん}。



□ エベレストの登頂^{とうちよう}に成功^{せいこう}。



□ 白^{しろ}い雪^{ゆき}を頂^{いただ}く山^{やま}々^{やま}が連^{つら}なる。



至

至^{いた}つて難^{むずか}しいことを

「至難^{しなん}の技^{わざ}」という



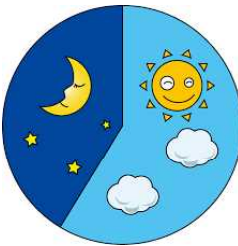
□ 至^{いた}れり尽^つくせりの便^{べん}利^りな生^{せい}活^{かつ}。



□ 至^し急^{きゆう}、係^{かかり}までご連^{れん}絡^{らく}ください。



□ 夏^げ至^しは一年^{いちねん}中^{じゆう}で一番^{いちばん}昼^{ひる}が長^{なが}い。



劇

劇場^{げきじやう}で

人形^{にんぎよう}劇^{げき}を發^{はつ}表^{ぴよう}したよ



□ 面^{おも}白^{しろ}い喜^き劇^{げき}、悲^{かな}しい話^{はなし}の悲^ひ劇^{げき}。



□ 劇^げ的^{きてき}なさよならホームラン。



□ 金^{きん}属^{ぞく}も溶^とかすほどの劇^げ薬^{やく}。



170

頂

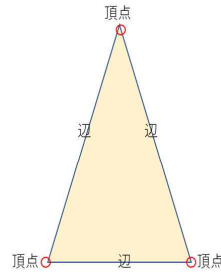
山の頂を

「山頂」という



サイン

□ 三角形の頂点と辺。



□ エベレストの登頂に成功。



□ 白い雪を頂く山々が連なる。



171

至

至って難しいことを

「至難の技」という



サイン

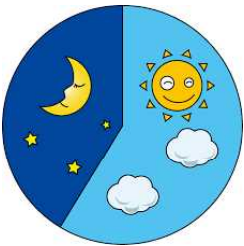
□ 至れり尽くせりの便利な生活。



□ 至急、係までご連絡ください。



□ 夏至は一年中で一番昼が長い。



172

劇

劇場で

人形劇を発表したよ



サイン

□ 面白い喜劇、悲しい話の悲劇。



□ 劇的なさよならホームラン。



□ 金属も溶かすほどの劇薬。



奏

楽器を奏で

交響曲を演奏する



□和楽器の琴を奏でる。

□ピアノの演奏が上達する。

□音楽会で器楽合奏を発表。



揮

先生の指揮に合わせて

合唱する



□オーケストラの指揮者。

□実力を発揮して合格した。

□ガソリンは揮発性の油です。



衆

大勢の観衆が

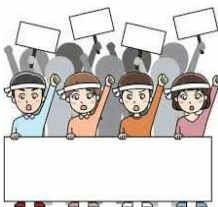
見守る中ゴールイン



□民衆の力で平和を守る。

□国会の衆議院と参議院。

□群衆が広場に押し寄せた。



173

奏

楽器を奏で

交響曲^{きやうきゆう}を演奏する□和楽器の琴^{こと}を奏でる。

□ピアノの演奏が上達する。

□音楽会で器楽合奏を発表。



174

揮

先生の指揮に合わせて

合唱する



□オーケストラの指揮者。

□実力を発揮して合格した。

□ガソリンは揮発性の油です。



175

衆

大勢の観衆が

見守る中ゴールイン



□民衆の力で平和を守る。

□国会の衆議院と参議院。

□群衆が広場に押し寄せた。



承

「その件、確かに

承りました。」と承諾した



□ 君の頼みについては承知した。



□ 古くから伝承されてきた民話。



□ 国会で予算案が承認された。



承

「その件、確かに

承りました。」と承諾だくした□君たのの頼みについては承知した。

□古くから伝承されてきた民話。



□国会で予算案が承認された。



2学期の漢字

たしかめ

21

105	104	103	102	101
株	届	沿	探	俳
木の切り株に小鳥が止まる。	注 文 品 を 配 達 先 に 届 ける。	目 的 や 話 題 に 沿 つて 話 し 合 う。	宝 物 を 探 し 求 める。	俳 句 に は 季 語 を 必 ず 入 れる。

たしかめ

22

110	109	108	107	106
専	券	盛	座	看
専 門 家 の 意 見 を 聞 く。	映 画 館 の 入 場 券 を 買 う。	盛 大 に パ ー ティ 開 かれ 盛 り 上 がる。	バ ス の 座 席 に 座 る。	い ろ ん な 看 板 が 並 ぶ 商 店 街 。

たしかめ

23

115	114	113	112	111
骨	潮	勤	純	模
体 を 支 える 骨 組 み が 「 骨 格 」。	干 潮 だ。潮 干 狩 ^が りに 行 こう。	会 社 に 勤 める 父 は 電 車 で 通 勤 する。	単 純 明 快 な 説 明 で よ く 分 かる。	大 規 模 な 平 城 京 の 復 元 模 型 。

たしかめ

24

120	119	118	117	116
延	奮	層	穴	棒
予 定 日 を 先 に 延 ば す こ と が 「 延 期 」。	「 奮 起 」と は 、心 を 奮 い 立 た せ る こ と 。	高 層 ビ ル が 建 ち 並 ぶ 大 都 会 。	厚 い 板 に ドリ ル で 穴 を 開 ける。	鉄 棒 の 逆 上 が り が で き た 。

たしかめ

21

105	104	103	102	101
き の き り か ぶ に こ と り が と ま る。	ち ゆ う も ん ひ ん を は い た つ さ き に と ど け る。	も く て き や わ だ い に そ つ て は な し あ う。	宝 ^{たから} もの を さ が し も と め る。	は い く に は き ご を か な ら ず い れ る。

たしかめ

22

110	109	108	107	106
せ ん も ん か の い け ん を き く。	え い が か ん の に ゆ う じ よ う け ん を か う。	せ い だ い に パ ー テ ィ ー ひ ら か れ も り あ が る。	バ ス の ざ せ き に す わ る。	い ろ ん な か ん ば ん が な ら ぶ し よ う て ん が い。

たしかめ

23

115	114	113	112	111
か ら だ を さ さ え る ほ ね ぐ み が 「 こ つ か く 」。	干 ^{かん} ち よ う だ。 し お 干 ^ひ 狩 ^が り に い こ う。	か い し や に つ と め る ち ち は で ん し や で つ う き ん す る。	た ん じ ゆ ん め い か い な せ つ め い で よ く わ か る。	だ い き ぼ な へ い じ よ う き よ う の ふ く げ ん も け い。

たしかめ

24

120	119	118	117	116
よ て い び を さ き に の ば す こ と が 「 え ん き 」。	「 ふ ん き 」 と は、 こ こ ろ を ふ る い た た せ る こ と。	こ う そ う ビ ル が た ち な ら ぶ だ い と か い。	あ つ い い た に ド リ ル で あ な を あ け る。	て つ ぼ う の さ か あ が り が で き た。

125	124	123	122	121
困	繰	批	鋼	銭
貧困で困っている人々を助ける。	ドローンを巧みに操り操縦する。	温かい批評の言葉をもらった。	鋼鉄で作られた電車の線路。	銭湯は、銭を払って入る風呂

130	129	128	127	126
律	源	装	捨	収
規律を守って楽しい学校生活。	水の流れ出る源を「源流」という。	服装を夏の装いにする「衣替え」。	四以下は捨て、五以上は切り上げる四捨五入。	二桁勝利を収め、収入が倍増した選手。

135	134	133	132	131
冊	権	著	済	従
月に平均五冊の本を読む。	「人権」は、人が人らしく生きる権利。	著者の人気で本の売れ行きが著しい。	借金の返済が全部済んだ。	従順に指示に従うかわいい愛犬。

140	139	138	137	136
密	秘	納	縦	腹
体と心は密接に関係している。	秘かに伝えられた神秘の伝説。	税金を納めることが「納税」。	縦と横、縦横に走る都会の道路。	腹が痛い。腹痛だ。

たしかめ

25

1 2 1	せんとうは、ぜにを払 ^{はら} ってはいる。ふ呂 ^ろ 。
1 2 2	こうてつでつくられたでんしゃのせんろ。
1 2 3	あたたかいひひょうのことばをもらった。
1 2 4	ドローンを巧 ^{たく} みにあやつり、そう縦 ^{じゆう} する。
1 2 5	ひんこんでこまっているひとびとをたすける。

たしかめ

26

1 2 6	ふた桁 ^{けた} しようにりをおさめ、しゅうにゆうがばいぞうしたせんしゅ。
1 2 7	よんいかはすて、ごいじようはきりあげるししやごにゆう。
1 2 8	ふくそうをなつのよそおいにする「ころも替 ^か え」。
1 2 9	みずのながれでるみなもとを「げんりゆう」という。
1 3 0	きりつをまもってたのしいがつこうせいかつ。

たしかめ

27

1 3 1	じゅうじゅんにしじにしたがうかわいいあいけん。
1 3 2	しゃっきんのへんさいがぜんぶすんだ。
1 3 3	ちよしゃのにんきでほんのうれゆきがいちじるしい。
1 3 4	「じんけん」は、ひとがひとらしくいきるけんり。
1 3 5	つきにへいきんごさつのほんをよむ。

たしかめ

28

1 3 6	はらがいたい。ふくつうだ。
1 3 7	たてとよこ、じゅうおうにはしるとかいのどうろ。
1 3 8	ぜいきんをおさめることが「のうぜい」。
1 3 9	ひそかにつたえられたしんぴのでんせつ。
1 4 0	からだところろはみっせつにかんけいしている。

145	144	143	142	141
除	絹	訪	泉	派
除雪・除草、除は「取り除く」という意味。	絹糸のような筋雲を「絹雲」という。	訪日した大統領が原爆資料館を訪れた。	水の湧き出る泉。その水が熱いと温泉。	表千家や裏千家は茶道の流派。

150	149	148	147	146
宝	針	聖	蒸	宅
金銀の財宝を満載した宝船。	針のように葉が細長い木は針葉樹。	神社の境内は神聖な場所だ。	もち米を蒸気で蒸してお餅つき。	新興住宅が建ち並ぶ町。

155	154	153	152	151
預	染	乱	優	灰
「預金」は銀行にお金を預けること。	「染色」とは、布や糸を染めること。	乱雑な使い方をして部屋が乱れる。	優しくて、技能も優れた優秀な人。	石灰石は灰色をした石だ。

160	159	158	157	156
皇	磁	射	寸	退
天皇が住んでおられる皇居。	電磁石を作って実験する。	射程距離に入った獲物を矢で射る。	寸法を測ったら同じ長さだった。	天皇の位を退くことが「退位」。

たしかめ

29

1 4 5	1 4 4	1 4 3	1 4 2	1 4 1
いみ。 じよせつ・じよそう、じよは「とりのぞく」という	きぬいのようなすじぐもを「けんうん」という。	ほうにちしただいとうりようが げん爆しりようかんをおとずれた。	みずの湧きでるいずみ。そのみずがあつとおんせん。	おもてせんけやうらせんけはさどうのりゆうは。

たしかめ

30

1 5 0	1 4 9	4 8 1	1 4 7	1 4 6
きんぎんのざいほうをまん載したたからぶね。	しんようじゆ。 はりのようにはがほそながいきは	じんじやのけいだいはしんせいなばしよだ。	もちごめをじようきでむしてお餅つき。	しんこうじゆうたくがたちならぶまち。

たしかめ

31

1 5 5	1 4 4	1 5 3	1 5 2	1 5 1
「よきん」はぎんこうにおかねをあずけること。	「せんしよく」とは、ぬのやいとをそめること。	らんぎつなつかいかたをしてへやがみだれる。	やさしくて、ぎのうもすぐれたゆう秀なひと。	せっかいせきははいろをしたいいしだ。

たしかめ

32

1 6 0	1 5 9	1 5 8	1 5 7	1 5 6
てんのうがすんでおられるこうきよ。	でんじしゃくをつくってじっけんする。	しやてい距離にはいった獲ものをやでいる。	すんぽうをはかったらおなじながさだった。	てんのうのくらいをしりぞくことが「たいい」。

165	164	163	162	161
庁	閣	党	陛	后
気象庁の天気予報を聞く。	内閣総理大臣に任命される。	国会にはいろんな党派がある。	戦争の終結を告げた天皇陛下。	天皇のお后様が皇后陛下。

170	169	168	167	166
頂	翌	己	憲	裁
山の頂を「山頂」という。	運動会の翌日は体が重い。	それは自己満足に過ぎない。	憲法に書かれた不戦の誓い。 <small>ちか</small>	訴えや争いを裁くことが「裁判」。 <small>うった</small>

176	175	174	173	172	171
承	衆	揮	奏	劇	至
「その件、承りました。」と承諾した。 <small>だく</small>	国会の衆議院と参議院。	先生の指揮に合わせて合唱する。	楽器を奏で、交響曲 <small>きやうきゆう</small> を演奏する。	劇場で人形劇を発表した。	至つて難しいことを「至難の技」という。

たしかめ

33

165	164	163	162	161
きしようにうの てんきよほうを きく。	ないかくそうりだいじん にんめいされる。	こっかいには いろんなとうはがある。	せんそうの しゅうけつをつげた てんのうへいか。	てんのうのおきさきさまが こうごうへいか。

たしかめ

34

170	169	168	167	166
やまの いただきを 「さんちよう」という。	うんどうかいの よくじつは からだが おもい。	それは じこまんぞくに すぎない。	けんぽうに かかれた ふせんの 誓い。 <small>ちか</small>	訴えや あらそいを さばくことが 「さいばん」。 <small>うった</small>

たしかめ

35

176	175	174	173	172	171
「そのけん、うけたまわりました。」と しょう諾 <small>だく</small> した。	こっかいの しゅうぎいんと さんぎいん。	せんせいの しきに あわせて がっしょうする。	がつきを かなで、こう響 <small>ひび</small> きよくを えんそうする。	げきじようで にんぎようげきを はっぴようした	いたって 難 <small>むずか</small> しいことを 「し難 <small>なん</small> の わざ」という。

6年生で習う漢字

1	簡	31	尺	61	供	91	誌	121	錢	151	灰	181	難
2	筋	32	班	62	系	92	詞	122	鋼	152	優	182	我
3	窓	33	域	63	誤	93	誠	123	批	153	乱	183	貴
4	枚	34	展	64	傷	94	忠	124	操	154	染	184	諸
5	宣	35	郷	65	厳	95	亡	125	困	155	預	185	孝
6	幼	36	映	66	論	96	担	126	収	156	退	186	干
7	革	37	覧	67	段	97	値	127	捨	157	寸	187	晩
8	裏	38	異	68	胃	98	激	128	装	158	射	188	幕
9	並	39	熟	69	腸	99	疑	129	源	159	磁	189	垂
10	視	40	賃	70	肺	100	障	130	律	160	皇	190	討
11	痛	41	盟	71	脳	101	俳	131	従	161	后	191	拡
12	敬	42	警	72	臓	102	探	132	済	162	陛		
13	敵	43	署	73	舌	103	沿	133	著	163	党		
14	降	44	蚕	74	私	104	届	134	権	164	閣		
15	姿	45	善	75	危	105	株	135	冊	165	庁		
16	胸	46	臨	76	策	106	看	136	腹	166	裁		
17	吸	47	宇	77	卵	107	座	137	縦	167	憲		
18	呼	48	宙	78	割	108	盛	138	納	168	己		
19	忘	49	欲	79	洗	109	券	139	秘	169	翌		
20	閉	50	穀	80	机	110	専	140	密	170	頂		
21	朗	51	遺	81	誕	111	模	141	派	171	至		
22	創	52	乳	82	砂	112	純	142	泉	172	劇		
23	補	53	樹	83	糖	113	勤	143	訪	173	奏		
24	拝	54	蔵	84	暖	114	潮	144	絹	174	揮		
25	郵	55	宗	85	若	115	骨	145	除	175	衆		
26	就	56	刻	86	巻	116	棒	146	宅	176	承		
27	仁	57	恩	87	訳	117	穴	147	蒸	177	将		
28	俵	58	推	88	背	118	層	148	聖	178	否		
29	紅	59	存	89	片	119	奮	149	針	179	認		
30	縮	60	暮	90	処	120	延	150	宝	180	尊		